

かんえん

肝炎ハンド

～肝炎ウイルス検査で陽性となった方へ～



◀鳥取県肝炎総合対策
キャラクター

 鳥取県

目次

はじめに	1
第1章 肝臓のはたらき	2
●肝臓の主な機能	
●肝臓の病気	
第2章 肝炎を知る	5
●B型ウイルス性肝炎について	
・主な治療方法 (抗ウイルス療法・肝庇護療法)	
・日常生活で注意すること	
●C型ウイルス性肝炎について	
・主な治療方法 (抗ウイルス療法・肝庇護療法)	
・日常生活で注意すること	
第3章 肝炎を調べる	13
●血液検査	
●血液生化学検査と超音波検査	
●県が実施するB型・C型肝炎ウイルス検査 (無料)	
(保健所検査・医療機関検査)	
●市町村が実施する検査	
第4章 医療費助成制度を活用する	17
第5章 情報を収集する	19
(1) 相談窓口	
(2) 鳥取県肝疾患診療連携拠点病院と 鳥取県肝疾患専門医療機関	
(拠点病院の紹介・専門医療機関の紹介)	
(3) 県内の肝炎患者会	
(4) 各種ホームページリンク	
偏見、差別のない社会を目指して	23
Q&A	24

はじめに

肝臓は「沈黙の臓器」と呼ばれ、病気になってもなかなか症状が出ないことが多く、気づかないうちに病気が進行していることがあります。肝硬変や肝がんへの進展を防ぐためにも、早期発見・早期治療が望まれますが、あわせて、肝炎を正しく理解することも大切です。

このハンドブックは、B型ウイルス性肝炎とC型ウイルス性肝炎を中心に、それぞれの肝炎の病態・治療方法・肝炎医療に関する制度等について記載していますので、今後の治療等にお役立てください。

正しく
肝炎を
知ろう！
まずは
一緒に



1 肝臓のはたらき

肝臓は私たちの体の中で最大の臓器であり、およそ2,500億個の細胞から構成されています。栄養分(糖質、たんぱく質、脂肪、ビタミン)の貯蔵・代謝など500を超える重要な機能を持っています。

●肝臓の主な機能

1

栄養分(糖質、たんぱく質、脂肪、ビタミン)の生成、貯蔵、代謝

2

血液中のホルモン、薬物、毒物などの代謝、解毒

3

出血を止めるためのたんぱくの合成

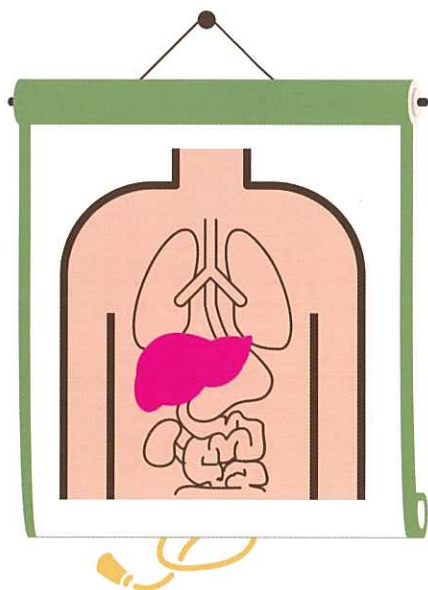
4

胆汁(脂肪の吸収を助けたり、肝臓に蓄積された老廃物を体外へ排泄する働き)の生産と胆汁酸の合成

5

身体の中に侵入したウイルスや細菌をやっつける

体にとって重要な働きをこなしているんだー！



●肝臓の病気

早期発見
早期治療に
役立てよう！



隠れ身の術！
肝臓は
「沈黙の臓器」！

◇肝炎

様々な原因により肝臓の細胞が破壊されて炎症が起こっている状態です。主な肝炎としては、ウイルス性肝炎、アルコール性肝炎、薬物性肝炎などが挙げられます。

また、発症した形態により、急性肝炎、慢性肝炎、劇症肝炎に分類されます。

・急性肝炎

急激に肝臓の細胞が破壊され、風邪に似た症状の後に黄疸(おうだん)(眼球の白い部分などが黄色くなる)が現れます。

症状: 風邪に似た症状(だるさ、発熱、頭痛、関節痛、吐き気、食欲不振、右脇腹痛など)、黄疸(おうだん)など

・慢性肝炎

慢性肝炎とは、臨床的には6ヶ月以上の肝機能検査の異常が続いている状態をいいます。長期間、肝障害が続くため、徐々に線維化が進み、肝硬変や肝がんになるリスクが高まります。

症状: ほとんどありませんが、体のだるさや吐き気、食欲不振などの症状がみられることがあります。

・劇症肝炎

急性肝炎のうち、特に肝細胞の破壊が広範囲に及び、肝機能が維持できなくなった状態です。劇症化すると死に至る可能性が高くなり、肝移植が必要となります。

症状: 発熱、だるさ、吐き気、黄疸(おうだん)、鼻血、歯肉出血、脈拍が激しくなる、呼吸が荒くなる、表情が乏しくなる、意識障害が出る など

◇肝硬変

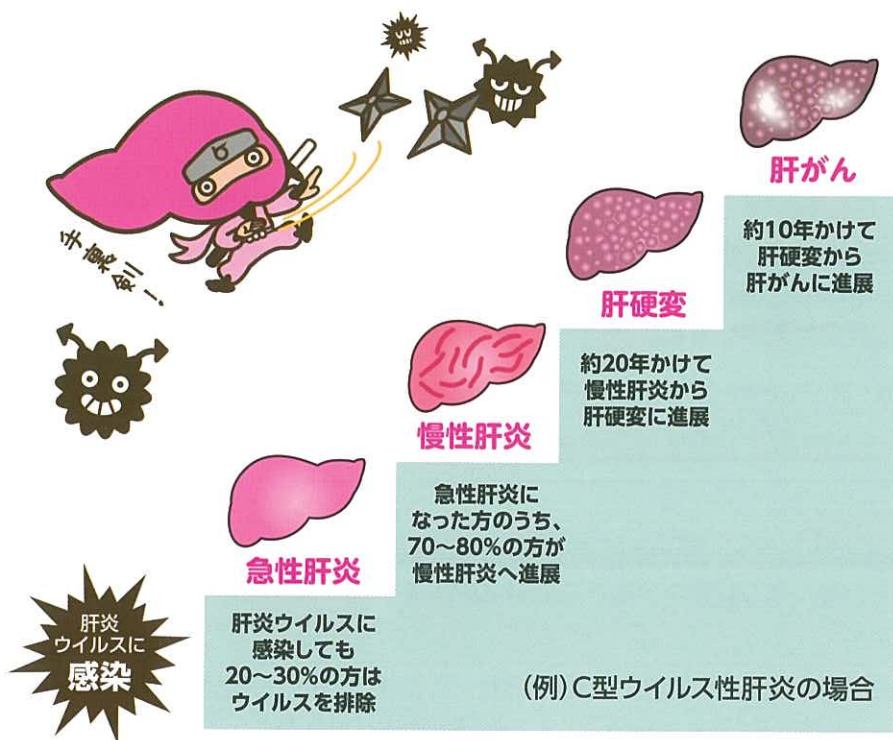
B型・C型肝炎ウイルスへの感染、アルコール・非アルコール性脂肪肝炎などによって肝臓に傷が生じますが、その傷を修復するときに行われる「線維(コラーゲン)」というタンパク質が増加して肝臓全体に広がった状態のことです。肉眼的には肝臓全体がごつごつして岩のように硬くなり、大きさも小さくなってきます。

症状:黄疸(おうだん)、腹水(おなかに水がたまる)、手のひらなどが赤くなる、クモ状血管腫(腕や肩にクモが足を伸ばしたような形の赤い斑紋が生じる)

◇肝がん

B型・C型肝炎ウイルス感染が原因で生じる肝がんが90%を占めており、特に最近では全体の70%はC型肝炎ウイルス感染がその原因になっています。このほか、アルコール性肝障害や非アルコール性脂肪肝炎が原因となる肝がんもあります。

症状:慢性肝炎や肝硬変の症状が現れやすい



2 肝炎を知る

肝炎は、主に肝炎ウイルスに感染することで発症します。現在わかっている肝炎ウイルスはA型、B型、C型、D型、E型などですが、日本人に多いウイルス性肝炎はA型、B型、C型の3種類です。

◇A型ウイルス性肝炎

感染経路：A型肝炎ウイルスに汚染された飲食物からの経口感染

特徴：①治った後は免疫ができ、再びかかることはない。

②東南アジア、中近東などの発展途上国へ旅行している際に感染することが多い。

◇B型ウイルス性肝炎 (詳細はP6～9で紹介)

感染経路：血液感染

特徴：①治った後は免疫ができ、再びかかることはない。

②一過性の感染と持続性感染がある。

◇C型ウイルス性肝炎 (詳細はP10～12で紹介)

感染経路：血液感染

特徴：①治療を受けないと将来肝硬変や肝がんになる可能性が高い。

②一過性の感染と持続性感染がある。

◇D型ウイルス性肝炎

感染経路：血液感染

特徴：①B型ウイルスに感染している人のみ感染する。

②日本での感染例は少ない。

◇E型ウイルス性肝炎

感染経路：E型肝炎ウイルスに汚染された飲食物からの経口感染

特徴：①動物(猪、鹿、豚など)の生肉(生焼けの肉を含む)を食することで感染することがある。

②東南アジア、中近東などの発展途上国へ旅行している際に感染することが多い。

③一過性の感染。

特に、B型では110万人～140万人、C型で190万人～230万人の持続感染者が存在すると推定されています。

● B型ウイルス性肝炎について

【病態】

B型ウイルス性肝炎は、B型肝炎ウイルス（HBV）により、肝臓が腫れたり、炎症がおこる病気で、B型肝炎ウイルスを含んだ血液や体液（精液、膣（ちつ）分泌液など）が、他の人の体内に入ることによって感染します。しかし、他人のケガなどの血液に素手で触れないなど、ごく常識的な衛生習慣を守れば、日常生活で感染する可能性はほとんどありません。

また、避妊具（コンドームなど）やワクチンを接種することで効果的な予防が可能です。

感染した時期、感染時の免疫の状態によって、一過性の感染に終わるものと持続感染するものとに大別されます。



（一過性の感染について）

身体の免疫システムが十分確立された思春期以降の感染は、多くの場合一過性の感染で終わり、その後、B型ウイルス性肝炎に感染することはありません。感染経路の大部分は性行為によるものと考えられていますが、その他に、未滅菌の医療器具、刺青、ピアスの穴開け、カミソリや歯ブラシの共有なども指摘されています。

（持続感染について）

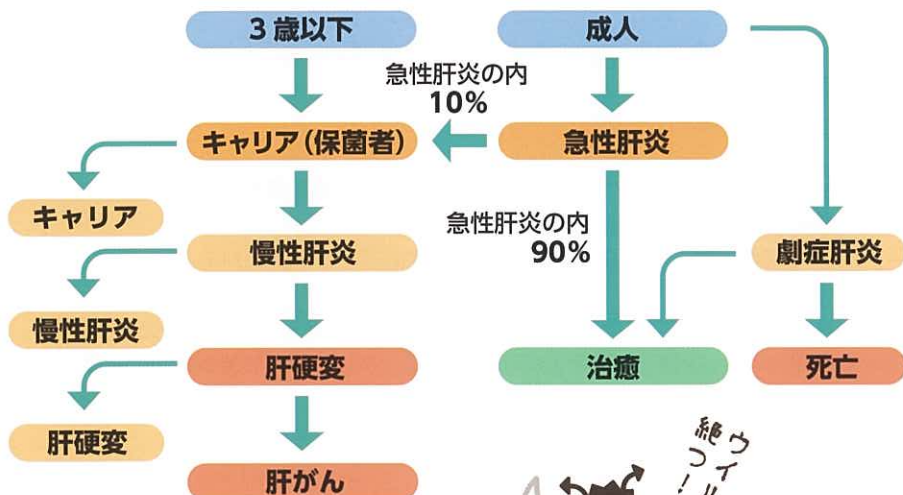
持続感染者の大部分は、B型肝炎ウイルスに感染している母親からの出産時に、産道出血により感染したものです（母児感染）。しかし、現在では、妊娠時にウイルス検査を実施しており、母親が感染していることが確認されれば、ワクチン等を用いて予防することが可能です。

またその他、乳幼児期の医療行為（過去の予防接種を含む）や家族内感染等により、B型肝炎ウイルスに感染したものがあります。

一般に持続感染が成立しやすいのは4、5才頃までの感染であり、思春期になると免疫システムが確立するため、仮に感染しても持続感染することは稀です。

一方、成人であっても、免疫不全の状況にある、免疫抑制剤使用中、抗癌剤治療中、後天性免疫不全症候群（AIDS）患者においては、B型肝炎ウイルスが排除できずに持続感染を起こすことがあります。

B型肝炎ウイルスに感染



〔独〕国立国際医療研究センター 肝炎情報センターHPより引用]



【主な治療方法】

抗ウイルス療法

◇インターフェロン治療

人の白血球が作り出すサイトカイン(免疫や体内での炎症を調節したり、ウイルスや細胞の増殖を抑制する働きを持つたんぱく質)を注射する治療方法です。B型肝炎であれば約3割の人が沈静化と言われています。

長所

- ⇒①薬剤耐性ウイルスが出現しない。
- ②投薬中止が容易である。

短所

- ⇒①副作用がほぼ確実に生じる。主な副作用は次のとおりです。
風邪に似た症状(だるさ、発熱、頭痛、関節痛、吐き気など)、貧血、うつ、不眠、皮膚疾患など
- ②注射薬である。

◇核酸アナログ製剤治療

肝炎ウイルスの増殖を抑え、肝炎を沈静化させる錠剤を飲む治療方法です。

長所

- ⇒①1日1回の内服投与(錠剤を飲む)でウイルス増殖の低下と肝炎の沈静化が期待できる。
- ②副作用が少ない。

短所

- ⇒①投与を中断すると抗ウイルス効果がなくなり、病気の再増悪が認められるため、継続投与が基本となる。
- ②長期間の治療に伴い薬剤耐性ウイルスが出現する可能性がある。

※これらの抗ウイルス薬は、いずれも妊娠、出産における子どもへの悪影響が否定できないので、妊娠する可能性のある女性及びパートナーである男性には原則、使用しません。

肝庇護療法

肝細胞が壊れる速度を遅くすることで、慢性肝炎から肝硬変への進展を抑える治療方法です。効果としては、肝細胞の保護や組織の修復の促進などがあげられます。

主な薬剤は次のとおりです。

- ①グリチルリチン製剤(注射薬)
- ②ウルソデオキシコール酸(経口薬)

長所

- ⇒①インターフェロン治療が副作用のために実施できない、あるいは無効であった際にも実施できる。
- ②インターフェロン治療に比べ安価である。

短所

- ⇒①抗ウイルス作用(ウイルスを排除する働き)を有していないため、治癒させることができない。
- ②一部のケースを除き、原則、P18で紹介する医療費助成の対象とならない。

日常生活で注意すること

★感染予防



かみそり、歯ブラシ、ピアスなど血液が付着している可能性がある物を共有しない。



性行為の際は、避妊具(コンドームなど)を使用する。

★病状を悪化させない



飲酒を控える。



喫煙を控える。



個人の体力に合わせて適度な運動をする。



朝・昼・夕に規則正しく食事を摂る。

【主な治療方法】

抗ウイルス療法

◇インターフェロン治療

人の白血球が作り出すサイトカイン(免疫や体内での炎症を調節したり、ウイルスや細胞の増殖を抑制する働きを持つたんぱく質)を注射する治療方法(内服薬であるリバビリンやプロテアーゼ阻害剤との併用も行われています。)です。C型肝炎であれば約5割から9割(肝炎ウイルスの遺伝子型やウイルス量によって異なります)の人が根治(治癒)可能と言われています。

長所

- ⇒①薬剤耐性ウイルスが出現しない。
- ②投薬中止が容易である。
- ③肝炎ウイルスの排除が可能である。(治療中止後も効果が持続する。)

短所

- ⇒①副作用がほぼ確実に生じる。主な副作用は次のとおりです。
風邪に似た症状(だるさ、発熱、頭痛、関節痛、吐き気など)、貧血、うつ、不眠、皮膚疾患など
- ②注射薬である。

肝庇護療法

肝細胞が壊れる速度を遅くすることで、慢性肝炎から肝硬変への進展を抑える治療方法です。効果としては、肝細胞の保護や組織の修復の促進などがあげられます。

主な薬剤は次のとおりです。

- ①グリチルリチン製剤(注射薬)
- ②ウルソデオキシコール酸(経口薬)

長所

- ⇒①インターフェロン治療が副作用のために実施できない、あるいは無効であった際にも実施できる。
- ②インターフェロン治療に比べ安価である。

短所

- ⇒①抗ウイルス作用(ウイルスを排除する働き)を有していないため、治癒させることができない。
 - ②P18で紹介する医療費助成の対象とならない可能性がある。
- ※その他に、インターフェロン少量長期療法や瀉血(しゃけつ)療法などもあります。

日常生活で注意すること

★感染予防



かみそり、歯ブラシ、ピアスなど血液が付着している可能性がある物を共有しない。



性行為の際は、避妊具(コンドームなど)を使用する。

★病状を悪化させない



飲酒を控える。



喫煙を控える。



個人の体力に合わせて適度な運動をする。



朝・昼・夕に規則正しく食事を摂る。
(ただし、鉄分を多く含む食品は控える。)

3 肝炎を調べる

●血液検査

肝炎ウイルスに感染しているかどうかは、血液を検査して調べます。少ない量を採血するだけですので、検査自体はすぐに終わり、検査結果も概ね数日後に分かります。

B型肝炎ウイルスを調べる検査

◇HBs抗原検査

⇒ 血液中にB型肝炎ウイルス(HBV)があるかどうかを調べる検査です。HBs抗原が検出された場合、肝臓の中でHBVが増殖していると認められます。

※HBs抗原: HBV粒子の外殻を構成するたんぱく質であり、HBVが感染した肝細胞の中で増殖する際に過剰に作られ、血液に流出する。

C型肝炎ウイルスを調べる検査

◇HCV抗体検査

⇒ 血液中にC型肝炎ウイルス(HCV)に対する抗体があるかどうかを調べる検査です。HCV抗体が検出された場合、「現在、HCVに持続感染している」または「過去にHCVに感染し、治癒した」ことを示しています。

◇HCV抗原検査

⇒ 血液中にHCVがあるかどうかを調べる検査です。HCV抗原が検出された場合、現在、HCVに感染している可能性が非常に高いと考えられます。

※HCV抗原: HCV粒子の外殻を構成するたんぱく質のことです。

◇HCV核酸増幅検査

⇒ HCVの遺伝子の一部を試験管内で約1億倍に増やして検出する方法です。この方法により、HCV持続感染者とHCVの感染既往者とに分けることができますようになります。また、HCVに感染した直後で、HCV抗体が作られる以前(HCV抗体陰性)の時期(HCV抗体のウィンドウ期)にある人についても的確に診断ができるようになります。

●血液生化学検査と超音波検査

P13で紹介した血液検査のほか、肝臓の状態を調べるため次の検査を実施します。

◇血液生化学検査

⇒ AST(GOT)、ALT(GPT) 値の測定により、肝細胞破壊の程度(活動度)を調べます。
この他、肝臓の機能(タンパク質合成の能力、解毒の能力などが保たれているか)、
血小板数なども調べます。

※AST(GOT)、ALT(GPT)：肝細胞の破壊によって数値が増加する酵素。
数値が高くなるほど肝細胞の損傷の程度がひどくなります。

◇超音波(エコー)検査

⇒ 肝臓の病期の進展度(ごく初期の慢性肝炎か、肝硬変に近い慢性肝炎かなど)、
肝臓内部の異常(がんなど)の有無を調べます。

これらの検査の結果、必要に応じて次の段階の検査(CT、MRI、血管造影など)を行うこともあります。



●県が実施するB型・C型肝炎ウイルス検査(無料)

ウイルス性肝炎の早期発見を推進し早期治療につなげるため、県内の各総合事務所福祉保健局、東部福祉保健事務所及び県と委託契約を締結した医療機関においてB型及びC型肝炎ウイルス検査を無料で実施しています。

【各総合事務所福祉保健局及び東部福祉保健事務所で実施する検査】

・対象者 検査を希望する方

※ただし、過去に肝炎ウイルス検査を受けたことのある者、あるいは、市町村検診等において、肝炎ウイルス検査の機会がある方を除く。

・検査内容

<検査の名称>	<検査の内容>	<判定結果>
B型肝炎ウイルス検査	HBs抗原検査	陽性、陰性
C型肝炎ウイルス検査	HCV抗体検査	陽性、陰性
	HCV核酸増幅検査	陽性、陰性

・実施機関、検査日時、連絡先

<実施機関>	<検査日時>	<連絡先>
東部福祉保健事務所 (鳥取市江津730)	毎週月曜日 13時30分から15時30分	☎0857-22-5694
中部総合事務所福祉保健局 (倉吉市東巖城2)	毎週水曜日 13時から13時30分	☎0858-23-3145
西部総合事務所福祉保健局 (米子市東福原1-1-45)	毎週火曜日 13時から13時30分	☎0859-31-9317

詳しくは下記、県ホームページをご覧ください。

⇒<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=219232>

【医療機関検査】

・申込方法

検査を希望する方は、肝炎ウイルス検査が受診できる協力医療機関（県ホームページ（<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=82765>）にて確認又は最寄の各総合事務所福祉保健局又は東部福祉保健事務所へお問い合わせください。）に事前にお申し込みください。

・お問い合わせ

<お問い合わせ先>	<住所>	<連絡先>
東部福祉保健事務所	鳥取市江津730	☎0857-22-5694
中部総合事務所福祉保健局	倉吉市東巖城2	☎0858-23-3145
西部総合事務所福祉保健局	米子市東福原1-1-45	☎0859-31-9317

●市町村が実施する検査

市町村は、健康増進法に基づき肝炎ウイルス検査を実施しています。また、平成23年度からは、特定の年齢の方を対象とした無料クーポン券を発行しているところもあります。（一部市町村では、肝炎ウイルス検査を実施していないところもあります。）

詳しくは、お住まいの市町村の健康増進担当へお問合せください。

4

医療費助成制度を活用する

県では、B型及びC型肝炎ウイルスの除去を目的として行う、インターフェロン治療及びB型肝炎ウイルス性肝炎に対して行われる核酸アナログ製剤治療で、保険適用となっているものについて、患者の負担額の一部を助成する制度を平成20年4月より実施しています。

この助成制度を利用するためには、あらかじめ県へ申請書を提出していただく必要があります。県は提出された申請内容を審査の上、適当であると認定した後、「受給者証」を交付します。以後は、医療機関等に受給者証を提示することにより、この助成制度を利用できます。

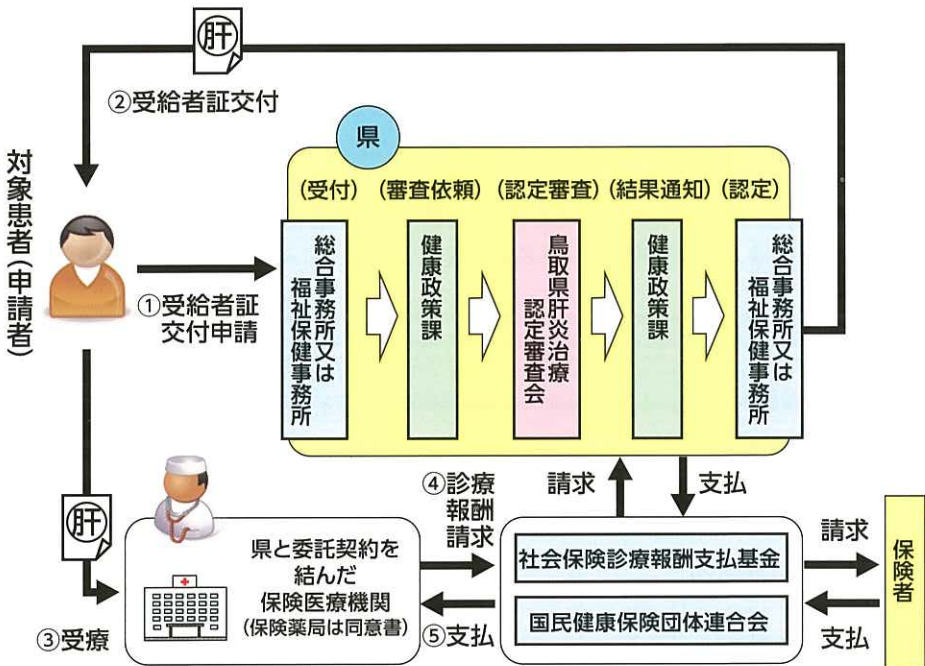
各種申請書のお取り寄せなど問合せ窓口は、下記のとおりです。

なお申請にあたっては、主治医（鳥取県肝臓がん検診精密検査医療機関または、日本肝臓学会の肝臓専門医のいる医療機関）の診断書等が必要となりますので、あらかじめ主治医にご相談ください。

<窓口>	<住所>	<電話番号>
東部福祉保健事務所	鳥取市江津730	☎0857-22-5694
中部総合事務所福祉保健局	倉吉市東巖城町2	☎0858-23-3145
西部総合事務所福祉保健局	米子市東福原1-1-45	☎0859-31-9317



制度体系図



・月額自己負担限度額

月額自己負担限度額は、受給者証の交付時に決定されます。

受給者証に記載された「月額自己負担限度額」に達するまでは、従来通りに医療機関や薬局の窓口で自己負担額をお支払いいただきますが、「月額自己負担限度額」に達した後は、その月における医療費の支払いは不要（公費助成）となります。

なお、月額自己負担限度額は、世帯の市町村民税（所得割）課税年額に応じて規定されます。

<区分>	<世帯の市町村民税(所得割)課税年額>	<自己負担限度額(月額)>
甲	235,000円以上の場合	20,000円
乙	235,000円未満の場合	10,000円

詳しくは下記、県ホームページをご覧ください。

⇒<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=81530>

5 情報を収集する

(1) 相談窓口

【肝炎に関すること】

<相談窓口名>	<対応時間>	<連絡先>
鳥取県肝疾患相談センター	年末年始を除く 平日8時半～15時	☎0859-38-6525
鳥取県東部福祉保健事務所	年末年始を除く 平日8時半～17時15分	☎0857-22-5694
鳥取県中部総合事務所福祉保健局		☎0858-23-3145
鳥取県西部総合事務所福祉保健局		☎0859-31-9317

【フィブリノゲン製剤等納入先医療機関公表に関する相談窓口】

<相談窓口名>	<対応時間>	<連絡先>
鳥取県福祉保健部健康医療局 医療指導課事業担当	年末年始を除く 平日8時半～17時15分	☎0857-26-7226

【B型肝炎訴訟に関する相談窓口】

<相談窓口名>	<対応時間>	<連絡先>
厚生労働省・電話相談窓口	年末年始を除く 平日9時～17時	☎03-3595-2252
最寄りの弁護士事務所		—————
法テラス		☎0570-078374
全国B型肝炎訴訟・山陰弁護団事務局(高橋敬幸法律事務所内)		☎0859-30-2002

【薬害C型肝炎訴訟に関する相談窓口】

<相談窓口名>	<連絡先>
最寄りの弁護士事務所	—————
法テラス	☎0570-078374
薬害C型肝炎鳥取弁護団鳥取地区(鳥取市民総合法律事務所内)	☎0857-50-1085
薬害C型肝炎鳥取弁護団米子地区(和心(あいみ)総合法律事務所内)	☎0859-37-2580

【特定フィブリノゲン製剤及び特定血液凝固第Ⅸ因子製剤による C型肝炎感染被害者を救済するための給付金相談窓口】

<相談窓口名>	<対応時間>	<連絡先>
独立行政法人 医薬品医療機器総合機構	年末年始を除く 平日9時～17時	☎0120-780-400

(2) 鳥取県肝疾患診療連携拠点病院と鳥取県肝疾患専門医療機関 ●拠点病院の紹介

肝疾患診療連携拠点病院とは、下記要件を全て満たす医療機関のうち、鳥取県肝炎対策協議会において選定された医療機関のことです。

(平成26年3月1日現在)

<医療機関名>	<住所>	<連絡先>
国立大学法人 鳥取大学医学部附属病院	米子市西町36番地1	☎0859-33-1111

【要件】

1. 日本肝臓学会の専門医等、肝炎の専門的知識を有する医師による治療が可能で、肝がんの高危険群の認定と早期診断等が適切に実施できる医療機関であること。
2. 県内の肝炎疾患診療機関のネットワークの中心的な役割を担い、肝炎専門医療従事者を対象とした研修や、肝疾患について専門医療機関との協議の場が設定できる機関で、かつ、肝疾患患者、肝炎ウイルスの持続感染者、家族等からの相談窓口となる「肝疾患相談センター」の設置等が可能な医療機関であること。

詳しくは下記、県ホームページをご覧ください。

⇒<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=127609>



●専門医療機関の紹介

鳥取県肝疾患専門医療機関とは、日本肝臓学会の専門医等、肝炎の専門的知識を有する医師による治療が可能で、肝がんの高危険群の認定と早期診断等が適切に実施できる医療機関であることが要件となっており、鳥取県肝炎対策協議会において選定された医療機関のことです。

現在、下記の11医療機関が選定されています。

【東部圏域】

(平成26年3月1日現在)

<医療機関名>	<住所>	<連絡先>
鳥取赤十字病院	鳥取市尚徳町117	☎0857-24-8111
(医)まつだ内科医院	鳥取市叶284-1	☎0857-38-4777
鳥取県立中央病院	鳥取市江津730	☎0857-26-2271
鳥取生協病院	鳥取市末広温泉町458	☎0857-24-7251
鳥取市立病院	鳥取市の場1-1	☎0857-37-1522

【県中部圏域】

<医療機関名>	<住所>	<連絡先>
鳥取県立厚生病院	倉吉市東昭和町150	☎0858-22-8181
岡山大学病院三朝医療センター	東伯郡三朝町山田827	☎0858-43-1211

【県西部圏域】

<医療機関名>	<住所>	<連絡先>
(独)労働者健康福祉機構 山陰労災病院	米子市皆生新田1-8-1	☎0859-33-8181
(独)国立病院機構 米子医療センター	米子市車尾4-17-1	☎0859-33-7111
(医)同愛会博愛病院	米子市両三柳1880	☎0859-29-1100
南部町国民健康保険西伯病院	西伯郡南部町倭397	☎0859-66-2211

詳しくは下記、県のホームページをご覧ください。

⇒<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=127609>

(3) 県内の肝炎患者会

<医療機関名>	<住所>	<連絡先>
350万人のB型・C型肝炎患者に医療費・補償費の支払をすべての肝炎患者の救済を求める全国センター鳥取支部 (カンカン友の会)	米子市弥生町2-20 だんだん広場(夢)内	☎0859-35-5508

(4) 各種ホームページリンク

鳥取県肝疾患診療連携拠点病院・鳥取県肝疾患専門医療機関 ⇒ http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=127609
肝炎対策に関するQ&A ⇒ http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=87695
鳥取県肝炎ウイルス保健所検診の実施について ⇒ http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=171081
鳥取県肝炎ウイルス医療機関検診の実施について ⇒ http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=82765
肝炎治療特別促進事業の概要 ⇒ http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=81530
肝炎対策に係る事業者の皆様へのお知らせ ⇒ http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=87727
B型肝炎ウイルス性肝炎の相談・検査について ⇒ http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=171086
C型肝炎ウイルス性肝炎の相談・検査について ⇒ http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=29202
肝炎総合対策の推進(厚生労働省) ⇒ http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou09/
肝炎情報センター(独立行政法人国立国際医療研究センター) ⇒ http://www.ncgm.go.jp/

偏見、差別のない社会を目指して

肝炎ウイルスは、ごく常識的な衛生習慣を守れば、日常生活で感染する可能性はありません。

肝炎ウイルスに対する誤解や偏見により、肝炎患者や感染者への差別を生むことがあります。肝炎について正しい知識を持つことが、このような差別をなくす第一歩に繋がります。

B型・C型肝炎ウイルスは、血液又は体液を介して人から人へと感染します。空気感染はしませんので、ごく常識的な衛生習慣を守れば、日常生活で感染する可能性はありません。



また、肝炎治療に効果のあるインターフェロン治療は、入院や頻繁な通院が必要な上、強い副作用を伴うことが多く、高熱、全身の倦怠感、頭痛、筋肉痛、関節痛、下痢や抑うつといった症状が現れる場合があります。このような方が身近にいらっしゃいましたら、御配慮をお願いします。

Q&A

感染が分かったら、
どうすればいいですか？



肝炎ウイルスに感染していたとしても、肝臓の状態は人によってまちまちです。場合によっては治療を受ける必要がないこともあります。すぐに本格的な治療をしなければいけない場合もあります。

いずれにせよ、肝臓の状態は自覚症状の有無では判断できませんので、感染していることが分かった以上は、専門の医療機関にかかって診断してもらうことが重要です。

また、B型・C型の肝炎ウイルスは、血液や体液(精液、膣(ちつ)分泌液など)に傷のある手などが直接接触することで感染することから、家庭内等での肝炎ウイルス感染拡大防止には、ケガなどの時に、血液を他人が直接接触しないよう留意したり、避妊具(コンドーム等)を使用することが有効です。

万が一、ケガなどで血液が床などに付着した場合には、次亜塩素酸ナトリウム液を軽く染ませた雑巾で拭き取った後に、通常の雑巾で拭き取っておくことが必要です。消毒用アルコール(酒精綿)による拭き取りは、HBVの感染予防のためには有効ではないことに留意しておくことが大切です。

ただし、血液が付着した手指などに外傷がない場合には、石けんを用いて流水で洗い流しておくだけで十分です。

